

県民の多様な声の可視化をAIで支援する 『ブロードリスニング』の検証結果について

岩手県（協力：株式会社ブーツ）

本資料のアジェンダ

- ブロードリスニングと今回のトライアルの概要
- 今回のトライアル全体の評価
- トライアルの成果
 - （出カイメージ） 広聴AIの出力の全体像
 - （出カイメージ） 県民の意見の全体図
 - トライアルを受けた評価
- トライアルを受けた今後の方針

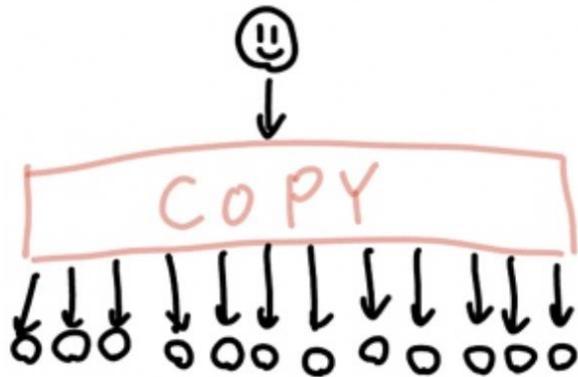
ブロードリスニングと今回のトライアルの概要

ブロードリスニングとは？

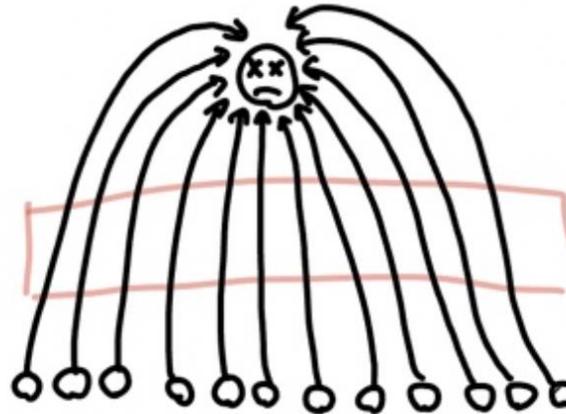
ブロードリスニングとは、大量で多様な住民の声を収集・分析して、政策立案に反映させる手法です。

従来は、手作業で多くの住民の声をとりまとめる作業には多くの時間を要していましたが、近年注目を集めるAI技術を活用することで、より効率的に整理して理解することができるようになりました。

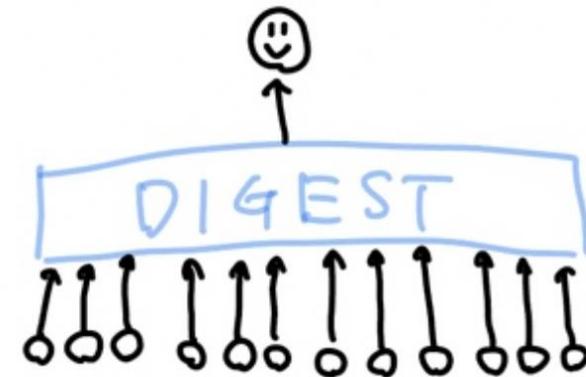
ブロードキャスト
一人の声を多数へ発信



既存の意見募集
受け取り側がパンク



ブロードリスニング
多くの声を上手に収集



テクノロジーを使って、「発信」だけでなく「受信」をアップデート

今回のトライアルの概要

今回のトライアルで対象としたデータ

下記のデータを対象としてAIで自動的に全体像を整理して、有意義な活用につなげる実証を行いました。

- 令和6年度に実施した「幸福について考えるワークショップ」で県民の皆様から頂いたコメント
- 令和5年度に実施した子ども（小学生～高校生）からの意見聴取コメント

今回利用したブロードリスニングシステム

『デジタル民主主義2030』で開発された『広聴AI』というブロードリスニングシステムを用いて実施しました。

今回のトライアルの協力企業

今回のトライアルは株式会社ブーツのご協力で実施しました。ブーツ社はブロードリスニングを含めてAIの活用に深い知見を持つDXコンサルティング会社です。

今回のトライアル全体の評価

今回の広聴AIのトライアルを通して、多数の意見のラベリングや関係性の整理などをスピーディーに行うことができ、非常に効率的な仕組みであると感じました。

また、これまではアンケートの自由記載・意見等の体系的な集約・分析に手間取る面がありましたが、広聴AIで可視化されることにより、全体像が把握しやすく、県民ニーズの一層の把握につながるものと感じました。

今後、AIの活用などDXの推進等を図りながら、県民の多様な声を生かした施策の企画立案に取り組んでいきたいと考えています。

トライアルの成果 | 広聴AIの出力の全体像



全体の要約

- 県民のコメント全体の概要をAIが自動で作成。

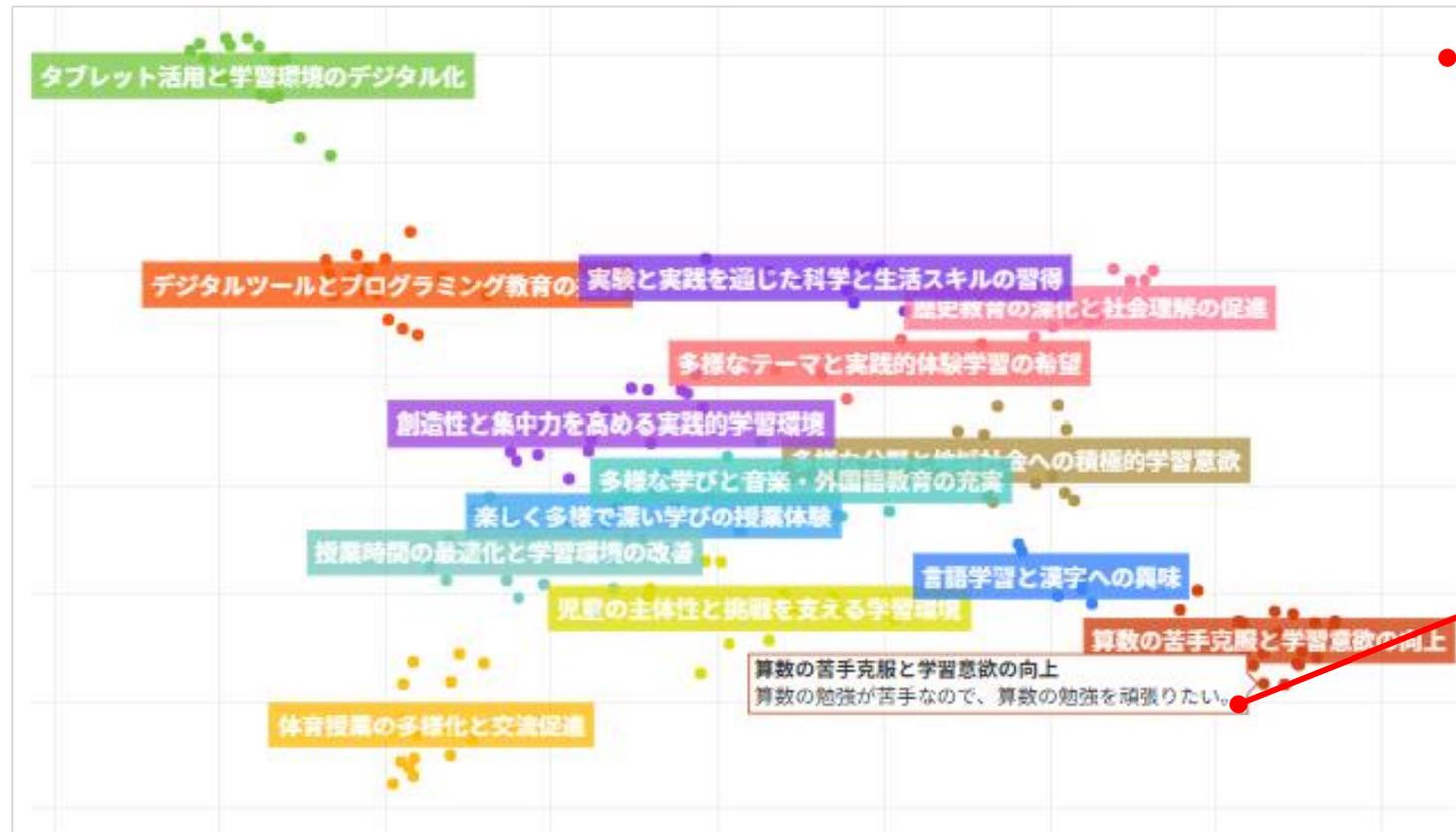
意見の全体像の図示

- AIが一つひとつの意見の内容を踏まえて、全体としてどのようなトピックや意見があるかをグループ化して整理。わかりやすいプロット図と、グループごとの色分けで表示。
- 特に集中した意見を抽出したり、グループをさらに細かいグループに分けるといった分析も可能。

内容グループごとの要約

- グループごとの内容の要約をAIが自動で作成。

トライアルの成果 | 多数の意見の全体図



全体像のプロット図

- 大量の意見を、意味やトピックが近いものをグループ化して整理。
- それぞれのグループの内容に応じたラベル名が自動で付与されます。

個別の意見の表示

- 一つひとつの“点”が一つの意見。個別の意見を丁寧に確認しながら議論をすることができます。

※子ども（小学生）からの意見聴取のうち、「授業のこと」に関する意見の自由記述コメント（177件）の全体像

トライアルの成果 | トライアルを受けた評価

広聴AIの評価と、行政活動での活用の期待

- ブロードリスニング技術を活用することで、これまで人力で行っていた県民の多様な声の分類作業やまとめ文章の作成が短時間で可能となるため、業務の効率化や分類等の適正化が図られます。
- また、アンケート結果の全体像を把握できるため、県民のニーズを把握しやすくなります。これまで羅列して記載していたアンケートの自由記載欄について、ラベリングして可視化した内容で示すことができるため、県民にとっても分かりやすいと考えられます。
- 大きな計画などを作る際、これまで、パブリック・コメント等の手段で実施してきましたが、SNS等の活用により広く声を聴取し、様々な手段で得た多くの意見を短時間で集約することができるため、様々な声を政策に活かすことが可能となると感じています。

広聴AIの更なる向上への期待

今回のトライアルを通して、広聴AIの更なる改善に向けた行政目線のフィードバックも提示させて頂きました。OSS（オープンソースソフトウェア）としての更なる向上を期待しています。

トライアルを受けた今後の方針

今回のトライアルの成果を受けて、下記の様な取り組みを進める予定です。

- 県で策定する各種計画や大規模なアンケート調査等において活用が可能ではないかと考えています。今回の無償トライアルの結果を庁内でも共有し、今後、具体化の中で詳細について検討していきたいと考えています。
- 県民の意見を集める仕組みづくりや、様々な活用事例の共有・調査、システムを扱うことができる職員体制の準備など、今回のトライアルを受けた今後の展開についても検討してまいります。